

令和7年度

在宅歯科医療連携室整備事業研修会

日時：2026年2月22日（日）14:00～17:00

会場：山形県歯科医師会館・WEB〔ハイブリッド形式〕

※是非、多数、会場で受講ください

演題

いつまでも「食べる」を楽しむために ～歯科医療がつなぐ在宅医療の未来～

講師

朝日大学歯学部
口腔病態医療学講座
摂食嚥下リハビリテーション学
教授 谷口 裕重 先生



【対象者】

山形県歯科医師会会員・スタッフ・
山形県内医療・介護・福祉・保健関係者・ご家族等、
どなたでもご参加いただけます

【申込方法・締切】

受講希望の方は、左記二次元コードまたは山形県
歯科医師会ホームページより2月13日(金)までお申し
込みください。締切日以降、登録アドレスに招待
メールをお送りします。



<https://forms.gle/BBy3EUEKBAszNft59>

一般社団法人 山形県歯科医師会
<https://www.keishi.org>
山形市十日町2-4-35
TEL 023-632-8020 FAX 023-631-7477

いつまでも「食べる」を楽しむために ～歯科医療がつなぐ在宅医療の未来～

講師 朝日大学歯学部 口腔病態医療学講座
摂食嚥下リハビリテーション学
教授 谷口 裕重

抄録

今、日本の地域医療に「歯科医療者」が十分に行き届いていない現実をご存知でしょうか。令和6年度の報酬改定では、医科・介護・歯科が連携した支援体制が推進され、「口腔」は地域包括ケアの中核として再評価されています。

しかしその一方で、通院困難な高齢者が歯科医療を受けられず、誤嚥性肺炎を繰り返す「歯科医療難民」が急増しています。その背景には、「食支援は難しそう」「複雑でよく分からぬ」といった誤解が根強く、多くの歯科医療者が一步を踏み出せずにいる現状があります。

いまこそ、歯科医療者が持つ専門性と強みを医療・介護の現場、そして地域社会へ発信すべき時です。本講演では、歯科診療所でも無理なく取り組める“現実的かつ実践的”な食支援・摂食嚥下リハ戦略をお伝えします。明日の臨床に直結する視点と工夫を、ぜひお持ち帰りください。

スケジュール（予定）

- 13：50 Web配信開始
- 14：00 趣旨説明・講師紹介
- 14：10 講演・質疑応答
- 17：00 終了

(当日スケジュールが変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。)

